

「ひとりじゃないよ」

私たち民生委員・児童委員です！



民生委員・児童委員って？ 気軽に話せる地域の相談相手です！

困っているときに「どうしたの？」と声をかけてもらえたら、きつと心強く感じるのではないだろうか。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された地域福祉のボランティアです。現在、長洲町には28人の委員があり、高齢者や障がいのある人をはじめ、子どもや子育て世帯など、地域で暮らす皆さんの身近な相談相手として活動しています。「ひとりじゃないよ」と声をかけ、地域の一人ひとりに寄り添う存在です。

こんな活動をしています（二部抜粋）

●相談・情報提供・連携

介護や子育てなど、地域の皆さんが抱える生活上の悩みや困りごとの相談

を受け、必要に応じて行政サービスなどの情報を提供します。

また、町や福祉・医療などの関係機関と連携し、必要な支援につなぎます。

●見守り・訪問

児童の通学やひとり暮らしの高齢者などを日頃から見守っています。

また、必要に応じて各家庭を訪問し、生活や安全の状況を確認します。

●定例会・研修

毎月の定例会で、民生委員・児童委員同士が活動状況や地域の課題を共有し、対応について話し合います。

また、新任研修をはじめ、活動に必要な知識や技術を学ぶための研修を通して、対応力を高めています。

「どこに相談したらいいか
分からない」

「ちょっと話を聞いてほしい」

困った時にはご相談を！

一人で悩まず、まずは身近な
民生委員・児童委員に
ご相談ください

お住まいの地区を担当する民生委員・児童委員については、ホームページを確認するか広報ながす2026年1月号をご覧ください。

また、相談などで連絡を取りたい場合は、お気軽にお問い合わせください。



◀広報ながす2026年
1月号『民生委員・
児童委員紹介』

☎ 福祉介護課 福祉係
☎ 78-3135

地域とつながる、

民生委員・児童委員

顔を見て、話す。それが安心につながる

「週に一度、主に一人暮らしや日中に一人で過ごしている高齢者の自宅を訪問しています。顔を見て話をすると安心しますし、相手が笑顔になってくれると、こちらも元気になりますね」そう話すのは、民生委員・児童委員として活動して15年目を迎える浜辺さん。

最近では相手の負担にならないよう、玄関先で話をすることが多くなりましたが、時には家にながって、ゆっくり話をすることもあるそうです。

最近の出来事や困っていることを聞いたり、世間話や昔話をしたりと、会話を通して様子を見守っています。

「話をして家の中の様子を見せてもらうと、行政の制度やサービスを知らない人も多いですね。『ここで困っているなら、こういう申請ができますよ』と、必要に応じて情報を伝えることもありま



西荒神区担当

浜辺 広吉 さん



▲短い時間でも顔を合わせて話すことができれば安心できる

長年活動を続けてこられたのは、子どもの頃、母親から言われてきた「町のために尽くしなさい」という言葉が浜辺さんの心の中にずっと残っているから。

「自分の楽しみにもなるし、話することで相手の寂しさも少しまぎれると思っています」と15年間の活動をふり返ります。

訪れた先では、「浜辺さんは気軽に話せて、いろいろと気を利かせてくれるので、とても感謝しています」との言葉が聞かれました。

笑顔で話せる時間が、互いの元気と安心につながっています。

中学校との意見交換を通して、

子どもたちを見守ります

9月24日、長洲中学校の青山賢治校長・三宅伸明教頭と、子どもたちの学校生活や地域での見守りについて意見交換を行いました。

これは、子どもたちを地域全体で支えていくため、授業の様子や地域での状況を共有し、互いの理解を深めながら連携を強化することを目的に行っているものです。これまでは、長洲・腹栄中学校の各校で年に1回、意見交換の機会を設けていましたが、中学校統合後は今回が初めての開催となります。

この日は、1年生から3年生まで実際にどのような雰囲気です授業を受けているのかを参観し、その後、意見交換を行いました。



▲授業を参観し、生徒たちとも交流を図りました

意見交換では、多感な時期を過ごす中学生を、学校だけでなく地域とも協力して見守り、一人ひとりのケアやサポートにつなげていくことを確認しました。

参加した委員からは「生徒の皆さんのびのびと自分の意見を発言し、楽しそうに授業を受けている姿が印象的でした。これからも、この良い雰囲気を大切にしてほしいです」「子どもたちには相手を思いやる気持ちや豊かな心を育んでほしいと思います。私たちも地域でサポートをしていきたいです」という感想が聞かれました。



▲授業を見た感想を伝え、先生から学校での取り組みについて話を聞きました

民生委員・児童委員も

ひとりじゃないよ！

悩んでいることはみんなで共有し、解決します

民生委員・児童委員の活動では、時に一人では抱えきれない悩みや困りごとに直面することもあります。

しかし、すべてを一人で解決する必要はありません。

月に1回の定例会では、連絡事項を確認するだけでなく、それぞれが抱えている悩みや困りごとを共有し、みんなで解決方法を考えています。

受け持つ世帯数や地域の状況は一人ひとり違うからこそ、委員同士で相談し、支え合いながら活動しています。



▲定例会では悩みや困りごとを共有しみんなで解決方法を考えています

民生委員・児童委員さんたちのサポート体制も充実しています！



長洲町社会福祉協議会（町ふれあいセンター内）

長洲町社会福祉協議会では、事務局として、日頃の活動で困ったことや悩んでいることなどを聞き、民生委員・児童委員の皆さんと一緒に解決策を考えています。

また、社協内にある地域包括支援センターをはじめ、町や関係機関とも連携し、民生委員・児童委員だけでは対応が難しい場合にも、必要な支援につながるよう取り組んでいます。

安心して活動できるよう、社協と一緒に考え、支えていきます。

☎ 町社会福祉協議会 ☎78-1440

研修や講習も充実

救急救命法などの講習や新任研修も行われており、活動に必要な知識や技術を学ぶ機会も多くあります。

また、さまざまな行事にも参加し、日頃から地域の皆さんとの顔が見える関係づくりを大切にしています。

地域にとって大切な存在へ

民生委員・児童委員になる際、最初は誰もが「何をすればいいのかわからない」という状態でスタートします。

それでも、経験を重ねる中で少しずつ役割を理解し、地域にとって大切な、住民の安心を支える存在へと成長していきます。

民生委員・児童委員の活動を知ってほしい！

令和9年度に民生委員制度は創設110年を迎えます。しかし、民生委員・児童委員の認知度はまだ低く、全国的にも担い手不足が深刻な問題となっています。

活動の中で大変なこともあります。多くの学びや喜びが、日々の活動の支えになっています。

昨年12月1日の全国一斉改選から1年を迎えました。今回の特集を通して、皆さんに私たちの活動を知っていただき、民生委員・児童委員をより身近に感じてもらえればと思います。

地域の皆さんに活動への理解を深めていただくことが、これからの担い手を増やすことにもつながると考えています。

今後もさまざまな情報を発信していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



会長
浦部 智子 さん



▲10月5日女性消防隊を講師に招きAED講習を行いました